



地域懇談会 13地域で1335人の皆さんが参加

皆さんの意見が分野別に張り出された会場（大井小学校体育館）

恵那市のまちづくりの指針となる「総合計画」を昨年1年間かけて策定しました。今年度は、この総合計画と行財政改革の進行状況を市民の皆さんと確認し、語り合う地域懇談会として開催されました。問い合わせ まちづくり推進課（内線638）

各地域自治体地域協議会の主催で実施された地域懇談会はそれぞれの地域が主体的に取り組まれ、特色ある懇談会が開催されました。そして、多くの皆さんを交えた活発な提案やたくさんのお見聞がありました。

大井町と岩村町の地域懇談会では、地域計画の見直しをする絶好の機会ととらえてKJ法（紙に意見を書く）による会議手法を取り入れ、会議席を円形に設定するなど、一人でも多くの出席者から意見が出していただけるように工夫されました。他の地域でも次回からこの方法を検討したいとかがついています。このように地域主体で実施することにより会議の方法が改良されつつあることも一つの成果だと考えます。

懇談会では昨年までの有望的な意見ばかりでなく、地域の実行組織での取り組みから協働でできる事業を推進する意見もあり、具体的な提案なども増えています。

各地域懇談会で出されました意見から特に協働で進めることができると思われるようなものをご意見のまま掲載します。地域の下のかっこ内の数字は、意見の総数です。

飯地町

（9件）

有名人村の提案があり、人を削減するのではなく、特技・写真や、水

そのほか紙に記入して、多くの意見が出されました。

山岡町

（8件）

地域では、防犯パトロールについて地域づくり事業で5年間のリースでパトロールカーを借り、7月から実施している。瑞浪市では、防犯パトロールに青色回転灯の公用車を、民間団体が委託契約して使用できるようにになっている。恵那市としてももっと利用を考えれば協働の精神が生かされるのでボランティア団体にも門戸を開いて地域づくり事業を進めてほしい。

明智町

（12件）

合併してから自主防災に取り組んできた。今年6月に設立総会をし、組織づくりや事業計画作成をした。4月の要望で、防災倉庫をお願いしたが、あまりいい返事ではなかった。高価なものでなく非常時に対応できるものがほしい。

企業7社でアンケートとポスターを千人に配布した。各企業のトップからは、住宅が足りないの瑞浪からでは通勤で困っているという意見があり、7社全てから同様の意見があるので、住宅や宅地を検討したらどうか。

上スキーができる場所を若者に開放し、免許制度で規則を決めて、若者が少しでも恵那に来ることを推進する。文化センターに有名な人を招いて、恵那市以外の人の来訪を考え、その中で各地域の催しやイベントにより外貨を生み出す施策を地域と一緒に取り組んでほしい。

中野方町

（10件）

企業の誘致を要望します。財産区が管理する直営地があり、そこにはダムが残土置き場があった。平地、法面、道路などで約9町歩ほどあるので、優良な企業の誘致を考えて欲しい。

笠置町

（18件）

お店と共に協力しながら、簡単にビニール袋を渡さずに、みんなが買い物袋を持つようにして、ゴミを減量化していく方向を市全体で取り組むことや、地域協議会で水辺周辺の美化活動の一環として竹林を切りチップ化を行い、そのチップで道路舗装などの整備に利用できないか。また笠置山は中野方と笠置にまたがっており、中野方地区の懇談会でも笠置山についての提言もあり、思いは私たちも同じなので、笠置山周辺地区について協議会が考えたい。

上矢作町

（13件）

朝日新聞の掲載記事で、福島県の矢祭町が紹介されていた。合併しない宣言をして5年経ったが、この行政と住民のかかわりについて住民意識では行政のやり方について満足しているという。

職員が自宅に出向き、役場への申請書類の作成をきめ細かく、地域の身になってお手伝いをしており、出張役場のような役割をしていることが評価の高いところと思う。職員が地域での出張役場である意識を持つことがこれからの行政と住民との一体感をつくる最も大切なことなので、そのように職員を教育し、サービスマンに対して徹底して行革を進めてほしい。

提案のほかに各地域では、道路の拡幅や改良と水道料金についての意見が多く出されました。

地域自治区が創設されて日が浅い訳ですが、懇談会を見ると少しずつ自治区の目的が理解され始めたため、提案や意見に変化が見られたと考えています。今後の地域協議会が各地で活発な動きが見えることを信じています。この他の意見は各地域協議会の中で取りまとめを行い、協議会だよりなどの広報紙でお知らせされる予定です。

長島町

（11件）

不燃物の集荷場まで運べないという相談があり、まちづくり委員会に部会ができていますので、福祉に関する部会もつくり、地域の人で何とか解決できないか、考えたい。

三郷町

（14件）

地元で作る恵那市の材を使って家を建てた場合に補助するなどの地域材の建設推進対策を考えることにより、雇用の促進と若者の住み易い環境づくりを進めたい。佐々良木地区ではテクノパークの続きに工業団地の用地があるので活用を早急に考えたい。

大井町

（32件）

阿木川の河川清掃を年1、2度行って欲しいがボランティアで行ってもいいとか自主防災隊長レベルアップ講座をしてもらいたい。

そのほか、張り出された紙には高齢者対策で遊休農地を利用することなど市民参加によるボランティア活動の意見が多く出されました。

武並町

（11件）

4月から環境部会が部会活動に始まりスタートした。防犯、不法投棄監視をしている。不法投棄の帕特

岩村町

（34件）

恵那市の見どころマップなどがあるとよい。市内の土地、農地、空き家を専門のインターネットで紹介し対応する課を設置したらどうか。

串原

（12件）

ふるさと応援歌『ささゆりの里』で多くの方が訪れ、ウオーキングを楽しんでいただいているが、ウオーキングコースづくり委員会会員で枯れ対策を行っているが出来ないところの松枯れは処理を進めてもらっている。

東野

（14件）

空き家対策の事例として、私の出身である飛騨の家は空き家になっているが、市と警察の管理になっている。何日の何時からどういう用件で何名が泊まる、または昼間は建物を見たいということなどで管理者が見せている。空き家を地域で活用しており、警察が巡回しながら厳しい管理体制で実施しているため、今後の恵那市の参考にしたい。